

〔編 集 後 記〕

従来とは趣向を少し変え、小特集の企画を盛りこんでみた。これは、この学報をより魅力あるものにしたいという意図のあらわれであると同時に、時代がわれわれに与える知的課題を明晰にとらえ、そこに焦点をあてたいということでもある。今後も、逐次、当研究所の問題意識を明確にする小特集を組みたい意向である。

(最上敏樹 記)